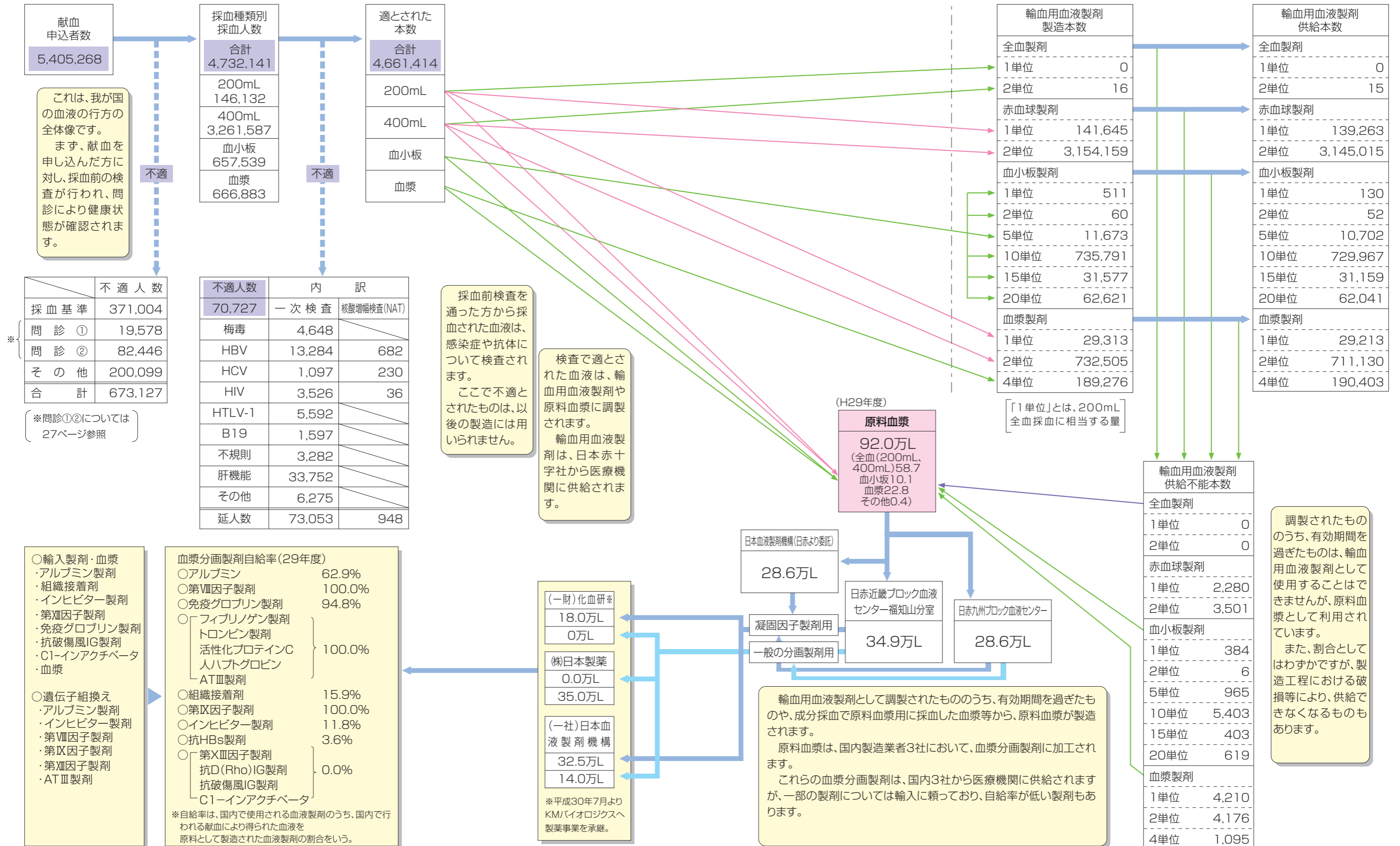


我が国における血液の行方(平成29年度版)



献血申込者数	5,405,268
--------	-----------

採血種類別採血人数	合計 4,732,141
200mL	146,132
400mL	3,261,587
血小板	657,539
血漿	666,883

適とされた本数	合計 4,661,414
200mL	
400mL	
血小板	
血漿	

採血基準	不適人数
問診①	19,578
問診②	82,446
その他	200,099
合計	673,127

不適人数	内	訳
70,727	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	4,648	
HBV	13,284	682
HCV	1,097	230
HIV	3,526	36
HTLV-1	5,592	
B19	1,597	
不規則	3,282	
肝機能	33,752	
その他	6,275	
延人数	73,053	948

採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

原料血漿 (H29年度)
92.0万L (全血(200mL、400mL)58.7 血小板10.1 血漿22.8 その他0.4)

輸血用血液製剤製造本数	
全血製剤	
1単位	0
2単位	16
赤血球製剤	
1単位	141,645
2単位	3,154,159
血小板製剤	
1単位	511
2単位	60
5単位	11,673
10単位	735,791
15単位	31,577
20単位	62,621
血漿製剤	
1単位	29,313
2単位	732,505
4単位	189,276

輸血用血液製剤供給本数	
全血製剤	
1単位	0
2単位	15
赤血球製剤	
1単位	139,263
2単位	3,145,015
血小板製剤	
1単位	130
2単位	52
5単位	10,702
10単位	729,967
15単位	31,159
20単位	62,041
血漿製剤	
1単位	29,213
2単位	711,130
4単位	190,403

「1単位」とは、200mL全血採血に相当する量

輸血用血液製剤供給不能本数	
全血製剤	
1単位	0
2単位	0
赤血球製剤	
1単位	2,280
2単位	3,501
血小板製剤	
1単位	384
2単位	6
5単位	965
10単位	5,403
15単位	403
20単位	619
血漿製剤	
1単位	4,210
2単位	4,176
4単位	1,095

- 輸入製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・血漿
- 遺伝子組換え
 - ・アルブミン製剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅸ因子製剤
 - ・第Ⅻ因子製剤
 - ・ATⅢ製剤

血漿分画製剤自給率(29年度)	
○アルブミン	62.9%
○第Ⅷ因子製剤	100.0%
○免疫グロブリン製剤	94.8%
○フィブリノゲン製剤	
トロンビン製剤	100.0%
活性化プロテインC	
人ハプトグロビン	
ATⅢ製剤	
○組織接着剤	15.9%
○第Ⅸ因子製剤	100.0%
○インヒビター製剤	11.8%
○抗HBs製剤	3.6%
○第ⅩⅢ因子製剤	
抗D(Rho)IG製剤	0.0%
抗破傷風IG製剤	
C1-インアクチベータ	

※自給率は、国内で使用される血液製剤のうち、国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造された血液製剤の割合をいう。

(一財)化血研※	18.0万L
	0万L
(株)日本製薬	0.0万L
	35.0万L
(一社)日本血液製剤機構	32.5万L
	14.0万L

※平成30年7月よりKMバイオロジクスへ製薬事業を承継。

日本血液製剤機構(日赤より委託)	28.6万L
凝固因子製剤用	
一般の分画製剤用	
日赤近畿ブロック血液センター福知山分室	34.9万L
日赤九州ブロック血液センター	28.6万L

輸血用血液製剤として調製されたもののうち、有効期間を過ぎたものや、成分採血で原料血漿用に採血した血漿等から、原料血漿が製造されます。原料血漿は、国内製造業者3社において、血漿分画製剤に加工されます。これらの血漿分画製剤は、国内3社から医療機関に供給されますが、一部の製剤については輸入に頼っており、自給率が低い製剤もあります。